

東新住建 COMPANY DATA

会社概要

| | |
|-------|--|
| 社名 | 東新住建株式会社 |
| 代表取締役 | 田中 竜哉 |
| 設立 | 1976年(昭和51年)7月20日 |
| 本社 | 愛知県稲沢市高御堂一丁目3-18(稲沢本店) |
| 登録 | 宅地建物取引業免許:国土交通大臣(3)第7873号 特定建設業許可:愛知県知事許可(特-4)第61271号 (公社)愛知県宅地建物取引業協会会員 東海不動産公正取引協議会加盟 |
| 資本金 | 8,000万円 |

事業実績

1976年創業の東新住建は約40年間にわたり22,000戸以上の住宅を建設してきました。大規模な街づくりから個性的な注文住宅まで、多彩なスタイルの高品質住宅を開発・提供。また、メゾネット賃貸のパイオニアとして、その着工数は東海圏下No.1の実績を誇ります。さらに、定期借地事業や不動産流通など、住まいに関する事業をトータルに展開しています。

✓ 20年間で分譲住宅着工数No.1

※本社を愛知県に置く住宅メーカーとして1992年~2011年マーケティングシステム調べ

✓ 2009年より無借金経営を継続中

✓ グループ総売上約280億円(2015年度)

※単純合計

✓ メゾネット型賃貸住宅東海圏着工実績No.1

沿革

| | |
|-------|--|
| 1976年 | 木の会社「東新住建」創業 |
| 1991年 | 木造メゾネットマンション「DUP(デュープ)」を開発 現在の新社屋を建設 木造ツーバイ工法、外壁タイルの研究開始 |
| 1994年 | メゾネット賃貸「ザ・借家」を開発 |
| 1995年 | 可変型分譲住宅「プラスYOU」を開発 |
| 1998年 | 2×4工法の自社パネル工場を開設 東京営業所を開設 |
| 1999年 | 株式を店頭公開(ジャスダック) ゼロ・エネルギー自然換気システム「BBD」を開発(特許取得) |
| 2000年 | 国内初・太陽光発電付き住宅の研究開発を開始 砕石パイル工法の前身「安心造工法」の研究開発を開始 |
| 2001年 | 地震の揺れを抑制する「TF制振装置」を開発 |
| 2004年 | 中国・上海に自社タイルパネル工場を開設 |
| 2005年 | 愛知万博瀬戸会場に「ウェルカムハウス」を建設 日本初の戸建てゲートタウン「マザーヴェリッジ岐阜」を開発 |
| 2008年 | 耐震性を高めた「4.3倍ツーバイ工法」を開発 |
| 2009年 | 液状化に強い地盤改良法「砕石パイル工法」の施工開始 太陽光発電モデルハウスを建設 |
| 2010年 | 大容量発電住宅「発電シェルターハウス」を開発 |
| 2015年 | 「ALCコンクリート発電シェルターハウス」を開発 |
| 2017年 | ギャラリー開設 |
| 2018年 | 東京都中央区に東京支店を開設 |
| 2023年 | 名古屋市に名古屋駅前店を開設 |

会社概要

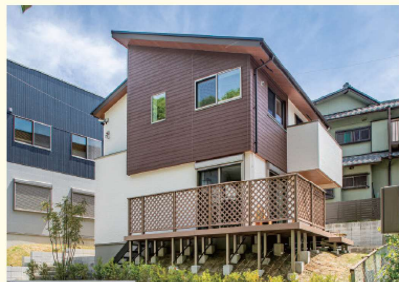
メゾネット販売事業

メゾネット型賃貸住宅のパイオニアとして、1994年に「ザ・借家」を発売。「ザ・借家」はバブル崩壊、繊維不況が起こった時代に誕生し、入居者の声を集めて創ったのが1,2階併用型のメゾネットタイプの賃貸住宅です。そのメゾネット型賃貸を専門に販売し、それ以降29年間に渡りメゾネットの改良を続け、専門店としてのノウハウと入居者満足を実現してきました。



分譲住宅事業

住まいの機能性やデザイン、耐久性だけでなく、街なみや周辺環境にも配慮した資産価値の高い分譲住宅をご提供。求められる場所に、求められる住まいをお届けするために、つねに多彩な物件をラインナップしています。



テイシャク事業(定期借地権)

当初の契約期間(50年以上)で借地関係が終了する「定期借地権」は、土地オーナー様にとっては安心して土地を貸すことができ、マイホームをご購入者様にとっても少ない負担でマイホームを取得できるなど、双方にメリットのある制度です。当社ではこの定期借地権を活用し、土地オーナー様とマイホーム購入者様双方にご提案を行っています。

